

日本声楽発声学会

# 学会通信

第20号

会員の皆さまへ

理事長 米山文明

学会通信第20号をお届けいたします。想像を絶する天変地異に加えて、考え方によっては一部人災とも思える原発事故に襲われた日本列島は正に未曾有の危機に直面しております。直撃を受けられた東日本諸地域の皆様には厳しい毎日をお過ごしのことと拝察いたします。

直接被災に遭われた会員およびご家族も多くおられると思います。謹んでお見舞いとお悔やみを申しあげます。現時点ではそれぞれ自分のできることをやりぬくことしか考えられません。人と人とが助け合い、苦難を分かち合うことの大切さが最も求められております。身近な一例ですと、医師である竹田数章会員は震災直後、医療救護班として石巻市に数日間行かれ、あまりの惨状に驚愕されたそうです。

学会活動もこの難局の中で、何とか推進してゆくしかありません。昨年5月から新しい役員年度に入りましてほぼ1年が過ぎました。各分担部門におきましては新しい理事も加わり、今後の体制に向けての変革を進めつつあります。具体的な細目につきましては、来る5月の総会にお諮りした上で発表いたします。大まかな予定を下記します。

①事務局の体制も「会則改訂」が5月の総会にお諮りした上での方向に向けて、かなり大きく変わる予定です。これまで手つかずのまま推

移してきました点もいくつかありますので。

②従来の3部門(理論、演奏、教育)でありました学会の構成を、国際と広報を一括して加え、4部門にいたす予定です(今後の検討事項)。

③演奏部門は担当理事の先生方が積極的なプランを企画して下さり、これまでのコンサートとは別に、会員によるミニコンサートを年に何回か行い、会員各位が気軽に発表できるチャンスをつくろうということになりました。歌の分野もいくつかのジャンルに分け、それぞれ会員ご自身の得意な分野に挑戦できるようにします。奮ってご参加ください。さらに何回かのミニコンサートの中から選ばれた会員による推薦コンサートも企画されています。

④例会、研修会の内容・形態も組織的、計画的に中長期スタンスの計画をつくります。今年度はまずイタリアのものを中心に選びました。5月例会は嶺貞子顧問にお願いして、イタリア古典、ロマン派、近代の歌曲に関する公開レッスンを行い、現役声楽家のセクションでも上記に因み、豊田理事がバッハのカンタータを演奏していただきます。

⑤学会誌も小林理事の発案で、いくつかの新しい企画が加わります。「書評」「広告」その他。皆様からもご意見をお寄せください。

⑥教育部会も文科省の「指導要領」作成に長年関与された弥政きょう介氏、小中学校教育に多年関わられた沖縄の泉恵得会員に加わっていただき、早速5月例会前日にシンポジウムを行い、さらに実行計画を推進します。

〔追記〕去る4月11日(大震災後1ヶ月目の日)東京カテドラル聖マリア大聖堂で、淡野弓子理事の主宰されるハインリヒ・シュッツ合唱団とメンデルスゾーン・コアの演奏会がありました。「ルカ受難曲」(シュッツ)と「十字架の道行」(リスト)の2曲で、淡野理事の指揮する合唱団は素晴らしい演奏を聴かせてくれました。しかも後者(リスト)の中間にある“第八の留”の曲の途中で、オルガンソロが突然ファンファーレを奏し始め、「この世が根底から転覆させられるほどの災厄を

予告する」(同日プログラムより)が鳴り響きました。このオルガン演奏が大変な名演で、正にリストがオルガンに託して200年後の東日本大震災を予言したかのように書かれたこの旋律と音色は、オルガン奏者の名演によってよみがえり、当日聴いていた私たちの胸の奥まで深く、重く沁み入りました。ちょうどこの曲の第七、第八が奏されている真最中に最近続いている大きな余震が突発し、会場は大きく揺れましたが、全演奏者の方々はまったく泰然自若と演奏を続行されていたのが感動的でした。

### 5月例会に関して

#### C 特別講演 — 公開レッスン

講師 嶺 貞子

ロマン派 受講生 淡野太郎 (バリトン)

ピアノ 羽鳥典子

佐藤悠也(バスバリトン)を淡野太郎に変更。

#### D 現役声楽家の演奏とお話

ソプラノ 豊田 喜代美

ピアノ 林 翔子

曲目 J.S.バッハ カンタータ BWV209

“悲しみを知らぬ者” Non sa che sia dolore

・シンフォニア : Sinfonia

・レチタティーヴォ : 悲しみを知らぬ者

Non sa che sia dolore

・アリア : 悲しき別れは

Parti pur e con dolore

・レチタティーヴォ : あなたの知識は

Tuo saver

・アリア : 悲しみも恐れも去り行け

Ricetti gramezza e pavent

曲目の詳細、及び、ピアニスト名を追加記載。

### ◇「歌の集い」について◇

先にお知らせした新企画の「歌の集い」にお申し込みいただき感謝しております。現在、予

定されているプログラムは下記の通りですが、7月23日(土)のラテン系に出演ご希望の方がいらっしゃれば、どうぞ早めにお申し出ください。9月4日、12月25日は十分に間に合います。皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

(本学会内「演奏委員会」FAX047-479-5701)

#### 7月23日(土) ラテン系

・杉原かおり (ソプラノ・リリコ)

レスピーギ《Quattro Liriche》

四つの抒情詩 全曲

伴奏者：近藤広志 (予定)

・湯川奈美 (ソプラノ)

トステイ Non tamo piu / Segreto / Sogno

ブッチーニ《Manon lescaut》より

Sola perduta abbandonata

伴奏者：斎藤香織

#### 9月4日(日) ドイツ系

・松下正樹 (バリトン)

シューマン歌曲集《ミルテの花》から

「自由な心」ほか

同《リーダークライス》から

「静けさ」ほか

・平松英子 (ソプラノ)

R.シュトラウス「夜」「サフラン」

「明日の朝」ほか

伴奏者：白澤暁子

・清田真理子 (メゾソプラノ)

プログラム未定

伴奏者：小林秋恵

#### 12月25日(日) 日本歌曲

・片岡ミドリ (ソプラノ)

山田耕筰「ペイチカ」

中田喜直「夏の思い出」ほか

演奏者自身のハーブによる伴奏。

### ◆研究会開催◆

下記により研究会を開催いたします。ぜひご出

席くださるようご案内いたします。会場の準備の都合上、出席ご希望の方は6月3日(金)までに FAX.あるいはハガキにてご連絡ください(Eメールも可)。

・日時：6月7日(火)

18:00～19:30(講演・質疑応答)

19:45～21:00(夕食・懇談会)

- ・会場：国際文化会館(港区六本木)
  - ・演題：Care of professional voice
  - ・講師：Dr. Anthony Yahn
  - ・会費：4,000円(当日、納入してください。)
- アンソニー・ヤーン氏は、6月のメトロポリタン歌劇場の日本公演に際し、同歌劇場ドクターとして同行され、本学会での講演を急遽快諾されました。

担当小林武夫理事。(連絡先 本学会事務局)

#### [会員だより]

##### ●米山文明

- ・「声の呼吸法—美しい響きをつくる」平凡社ライブラリー版として3月に新装発刊。940円
- ・5月15日(日)：「奇跡の地球物語」テレビ朝日 18:30～18:55 「ウィーン少年合唱団の声をテーマに」に出演。
- ・医学誌「JOHNS」(27巻8号、2011年8月号)東京医学社の〈声とことばの科学〉(分担執筆)に「職業歌手の声帯管理」を寄稿。

#### ◆演奏会◆

##### ◎未来へのチカラ ～親子のための第九～

- ・日時：8月6日(土)①11:00開演(10:15開場)  
②15:00開演(14:15開場)
- ・会場：オペラシティコンサートホール
- ・曲目：ベートーヴェン「第9交響曲」
- ・指揮・監修：ダン・エッティンガー  
東京フィルハーモニー交響楽団
- ・ゲスト(進行役)：大橋のぞみ
- ・アナリーゼ・進行役：ドクトル中川(中川賢一)
- ・ソリスト：S. 大隅智佳子 A. 清水華澄

##### T. 高田正人 B. 浅井隆仁

- ・合唱：東京オペラシンガーズ
- ・児童合唱：東京少年少女合唱隊  
同指揮：長谷川久恵
- ・児童合唱：岩手大学教育学部附属小学校合唱部  
同指揮：佐々木正利

料金 S席 3,000円 A席 2,000円 5/20発売

昨年12月25日に東フィルの第九特別演奏会が盛岡で行われ、私が指導している盛岡バッハ・カンタータ・フェライン100名と岩手大学教育学部附属小学校合唱部30名が合唱を担いました。この合唱を指揮者のエッティンガー氏がいたく気に入ってくださり、このたびの東京公演でも岩手大学附属小学校合唱部をぜひ起用したいということになりました。児童発声の模範として、けっこう良い線を行っているかな、と自負していますが…。

佐々木正利(岩手)

##### ◎ 勝間田裕子個展+3

作曲家、湯浅譲二・松平頼暁・近藤譲・三宅榛名・  
勝間田裕子作品の演奏会

- ・日時：6月9日(木)開演19:00(開場18:30)
- ・会場：オペラシティリサイタルホール
- ・出演：平松英子(S) ほか  
湯浅譲二「蕪村五句」を演奏
- ・指揮：佐藤紀雄(ギター) アンサンブル・ノマド  
入場券：一般3,000円 学生2,000円  
お問合せ：東京コンサーツ 03-3226-9755

##### ◎港で出合う芸術祭 神戸ビエンナーレ2011

- まらkira コンサート “うたのファンタジー秋”
- ・日時：平成23年10月8日(土)15:00開演
  - ・会場：シマブンホール TEL.078-802-7700  
神戸市灘区岩屋町4-2-7
  - ・出演：杉本乃富子・永井和子・松岡理美  
(以上会員)、時宗務・日野葉子・広間有希・  
永木るり子・西垣千賀子・西川真美  
ピアノ：林朋美・次郎丸智希  
入場料：2,500円

神戸市が阪神淡路大震災から「元気を出そう」をスローガンに毎年芸術祭を行っているコンサートの一環に参加。

指定：5,000円 自由：4,000円、2,500円(学生)  
菊田音楽事務所 TEL/FAX.042-394-0543

### ◆新会則案へ追補◆

#### ◎ シュッツ〈宗教合唱曲集 1648〉全 29 曲

- ・日時：9月16日(金) 18:30 開演
- ・会場：東京カテドラル聖マリア大聖堂
- ・出演：中野哲也(Va da g) / 福沢広(Va da g) / 西澤央子(Vc) / 西澤誠治(Vne) 萩谷克己(Trbne) / 宮下宣子(Trbne) / 巻島俊明(Trbne) ハインリヒ・シュッツ合唱団・東京
- ・指揮：淡野弓子
- 全席自由：4,000円 2,500円(学生)

#### ◎ 〈レクイエムの集い〉

リスト生誕 200 年記念—その 2

- ・日時：11月18日(金) 19:00 開演
- ・会場：東京カテドラル聖マリア大聖堂
- ・曲目：リスト「レクイエム」 シュッツ「我が子アプサロン」ほか
- ・出演：椎名雄一郎 オルガン ハインリヒ・シュッツ合唱団・東京
- ・指揮：淡野太郎
- 全席自由：4,000円 2,500円(学生)

#### ◎ 〈受難楽の夕べ〉

リスト生誕 200 年記念—その 3

- ・日時：2012年3月31日(土) 17:30 開演 (大震災の影響により'11/7/31の予定を延期)
- ・会場：新宿文化センター大ホール
- ・曲目：リスト「キリスト」オラトリオ
- ・出演：淡野桃子(S)/羽鳥典子(A)/武田正雄(T) 淡野太郎(B/キリスト) シンフォニア・ムシカ・ポエティカ ハインリヒ・シュッツ合唱団・東京 メンデルスゾーン・コーア アンサンブル・アクアリウス
- ・指揮：淡野弓子

会則検討委員会委員長 佐々木正利  
先にお送りした「会則新旧対照表」で新会則の「理事等の被選挙権」について、5月12日に開催された理事会案により以下のように追補いたします。下記のアンダーラインを付した文言が追加部分です。

- ・「細則3」ハ「会長、理事の選挙は、正会員全員を被選挙権者とし、(但し、選挙年の前年の3月31日までに入会承認された、1年以上継続の正会員)、自薦、他薦を含め、……」  
また、会則の最後に、以下の「付則」を付記。
- ・「付則」この会則は、2013年6月1日から実施する。

### ◆現行会則の改訂案◆

- 理事長 米山文明
- ・第11条 役員 の項 3、「本会に顧問、相談役、事務局次長、及び幹事をおくことができる。」  
アンダーラインの文言を追加。

#### [事務局だより]

◎学会誌へ投稿をお待ちしております。投稿の際には研究発表規程をお読みください。また、学会通信にも会員各位の演奏会、出版、CD制作や近況等についてお寄せください。

事務局長 川上勝功

学会通信 第20号	平成23年5月23日
日本声楽発声学会事務局	
〒275-0005 習志野市新栄2-9-2 西村暁子方	
jars@hotmail.co.jp TEL./FAX.047-479-5701	